

佐久看専広報活動のご紹介

昨今の社会情勢や少子化の中、本校では、入学者(受験志願者)確保に向けて様々な取り組みをしています。この時期は県内の高校やホテル、大ホール等で行われる進学ガイダンスで大忙しです。3カ月で12回参加！！

高校生にとっては一生の進路を決める大事な時期です。今年は特に3年生はコロナ禍で3年間ほぼ進路や職業体験ができなかった生徒が多い状況です。実際に医療関係全体のニーズは減少ぎみで、「美容」や「ペット」関係が伸びています。

私たちは「看護の魅力」や「佐久看専の魅力」を、教職員が直接高校生に伝え、対話することが重要と考えています。また、高校生がわくわくするような内容を伝えるスキルを身につけるように教員全員が参加できるよう予定していこうと思います。

本校の魅力は、県内JA長野厚生連病院への完全就職、経済的負担が少ないこと、佐久病院グループでの実習教育環境が充実していること、JA長野厚生連の援助により、生活環境(寮や給食等)などが整っていること等、様々な特長があります。

説明は、「佐久は軽井沢の南側にあって・・・」「JA長野厚生連は県内最大規模の医療機関で・・・」から始まり、魅力を伝えると、説明を聞いた生徒は、目を輝かせ、初めて本校やJA長野厚生連の存在を知ることとなります。

高校としては、どうしても大学進学が最優先事項となりますが、本校を選択肢のひとつとしてもらえるよう、このようなガイダンスになるべく多く出場し、発信していくことが重要です。

なお、この時期は他にも県内高校(60校以上)に訪問させていただいたり、進路指導の先生や進学塾講師と様々な情報交換を行い、入試やオープンキャンパスのお知らせを行います。担当の先生にお話を伺うと、予想以上に少子化の影響が大きい状況が伝わってきます。

厳しい情勢ですが、これからも佐久総合病院看護専門学校広報について、時代に合わせつつ工夫しながら発信していければと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

※ 次ページから、実際に使用している「佐久看専の魅力」(魅力1～4)を掲載しますのでこの機会にご覧ください。

佐久総合病院看護専門学校 広報担当 佐々木



本校が提携している進学サイト担当者と記念撮影

ビッグハット(長野市:2回)

東北信地区高校より合計約2,800名来場
(本校ブースには合計47名来場しました)



異業種の学校・企業が200以上出展

やまびこドーム(松本市)

中南信地区高校より約1,000名来場
(本校ブースには27名来場しました)



来場を待つ学校教員



参加した教員からは、会場で高校時代の在学を育ててくれた先生にもお礼を述べたり、学生の成長を伝えることができ、大変良い機会となりました。



出展時は、生徒に合わせて様々な工夫が必要です